

# 学報

2019年6月 Vol. 742



2019年度第3回学長記者会見を実施

岐阜大学主催公開講座「先端を行く連合創薬医療情報研究科 —創薬を支える究極のものづくり—」を開催	01
岐阜大学工学部 佐々木実教授が Dedan Kimathi University of Technology (ケニア) から 名譽博士号を授与	03
第8回郡上踊りワークショップを開催	04
2019年度第2回学長記者会見を実施	06
第10回連合農学研究科セミナーを開催	07
第20回国公私立大学医学部・歯学部教務事務職員研修を開催	08
春のクリーンキャンパス活動を実施	09
72回医学教育セミナーとワークショップを開催	10
経済産業省 商務・サービスG 政策統括調整官 江崎禎英氏による講演会を開催	11
2019年度第3回学長記者会見を実施	12
学位授与	14
叙位・叙勲	15
表彰受賞者	16
外国人研究者の受け入れ	17
産官学連携の実施状況	18
メディア掲載一覧	19
諸会議	23
主要日誌	25
人事異動（学内限定）	26

岐阜大学主催公開講座「先端を行く連合創薬医療情報研究科  
—創薬を支える究極のものづくりー」を開催

岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科は、令和元年5月10日（金）に岐阜大学主催公開講座「先端を行く連合創薬医療情報研究科—創薬を支える究極のものづくりー」を岐阜大学サテライトキャンパスで開催した。

今年度の公開講座は2部構成で行われ、一般講演では岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科の池田将教授、岐阜薬科大学の佐治木弘尚教授の2名に講演いただき、ナノ纖維であるマイクログル纖維を用いた医療材料開発の展望、無溶媒・固体反応での有機化合物の生成など、先生方それぞれの専門分野から、創薬開発につながる最新の研究を解説していただいた。

また、特別講演では、名古屋大学大学院工学研究科・医学系研究科の馬場嘉信教授と名古屋大学環境医学研究所の澤田誠教授、名古屋大学大学院理学研究科の伊丹健一郎教授の3名に講演いただいた。ナノテクノロジーを用いたがん検査の新手法、質量分析イメージング技術による薬物動態の定量化、未知の有機化合物を合成することで、難題解決に貢献する事例など、参加者の多くが驚嘆させられるような講演をしていただいた。

参加人数は121名と、会場が溢れ返るほどの方にご参加いただき、講演後の質疑応答では、活発な意見交換が行われた。また今回は、名古屋大学との「東海国立大学機構」の基本合意後に開催した公開講座であり、お招きした名古屋大学の先生方の講演を、参加者は熱心に聞き入っていた。

岐阜大学の将来ビジョンでは、「社会貢献」を重点的な内容の一つに掲げており、今回の公開講座では、多くの方にご参加いただけた事はもちろん、本研究科および医療の最先端の研究成果を多くの方に触れていただく事で、今後の本研究科における取り組みも一層活発になることが期待される。



開会の挨拶を行う丹羽研究科長



池田将教授（岐阜大学）の講演の様子

121名が参加した。



澤田誠教授（名古屋大学）の講演後の質疑応答の様子



閉会の挨拶を行う森脇久隆岐阜大学学長

岐阜大学工学部 佐々木実教授が Dedan Kimathi University of Technology (ケニア) から名誉博士号を授与

平成31年4月26日（金）に Dedan Kimathi University of Technology (ケニア) において名誉博士号を授与された。

これはケニアのメカトロニクス工学への多大なる貢献と、ケニアの学者に対し、この分野での最先端の研究を行う機会を提供したことが評価されたものである。歴代受賞者には南アフリカ共和国第9代大統領タボ・ムベキ氏やケニア共和国第3代大統領ムワイ・エミリオ・スタンリー・キバキ氏がおられ、日本人では初となる。

佐々木教授は、5月14日（火）、学長室を訪問し、名誉博士号の受領を森脇学長に報告した。森脇学長は、佐々木教授のケニアでの活動報告に熱心に耳を傾けられ、授与を称えた。

岐阜大学は2014年から Dedan Kimathi University of Technology と協定を結んでおり、さらなる交流を進める。



学長報告の様子



記念撮影（左から佐々木教授、森脇学長）

## 第8回郡上踊りワークショップを開催

本学グローカル推進機構日本語・日本文化教育センターは、2019年5月15日（水）、柳戸会館1階集会ホールにおいて、郷土芸能のひとつであり国の重要無形民俗文化財に指定をされている「郡上踊り」を学ぶワークショップを開催した。当日は、留学生、教職員約30人が参加しました。このワークショップは、サマースクール（受入）郡上プログラムや本学との地域連携協定の締結などの交流実績がある郡上市との交流促進の一環として実施しているもので、今回で8回目の開催となる。

ワークショップが始まる前に、学生たちは、美濃市の国際交流支援グループ「せぴあ会」の方々に浴衣を着付けていただいた。アメリカ、インドネシア、オーストラリア、韓国、スウェーデン、タイ、チリ、中国、フランス、マレーシア、ミャンマーなどの学生たちは、色とりどりの浴衣を前に、どれを着ようか嬉しそうに選んでいた。

ワークショップには、郡上踊り保存会団子部・同口明方団子部の遠藤先生氏、熊澤里重氏を講師としてお招きした。最初に郡上市や郡上踊りの概要についての説明を聞いてから、郡上踊りの中で代表的な曲の「かわさき」と「春駒」の2曲の踊りを習った。

既に郡上踊りを習ったことがある学生が数名おり、彼らのスムースな動きには講師も目を見張っていた。一方、初めての体験で、独特の動きとリズムに苦戦する学生もいたが、「上手下手ではない、笑顔で楽しく踊ることが一番大切」という講師の言葉に励まして、それぞれがのびのび踊ることができた。最後に、楽しくそして真剣に踊った学生7名が講師によって選ばれ、賞品が手渡された。留学生にとって、日本そして岐阜を感じる貴重な機会となった。



「かわさき」ポーズで集合写真



「かわさき」を習う学生たち



「春駒」を踊る学生たち



踊りの講師と優秀踊り子たち

## 2019年度第2回学長記者会見を実施

本学は、5月20日（月）に、2019年度第2回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「生命の鎖統合研究センターの活動」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行い、次いで石田生命の鎖統合研究センター長、鈴木教授、安藤教授、木塚准教授からセンターが設置された2016年10月から現在までどのようにセンターが発展してきたのかを説明した。

生命の鎖統合研究センターでは、鈴木教授が持つ、「糖鎖一分子観察技術」、安藤教授が持つ、「糖鎖合成化学技術」、木塚准教授が持つ、「糖鎖改変技術」を活かし、がんやアルツハイマーなど糖鎖が関係している疾患の診断や、治療を目指した基礎研究を行っている。

センターは発足当時5名（専任教員）の研究者でスタートしましたが、現在では14名で研究活動を行っている。また、Science や Nature 系の主要な論文誌に3本の論文が掲載され、大型外部資金も獲得し、今後も岐阜大学に拠点を置く、東海国立大学機構「糖鎖生命コア研究拠点」として、ますます研究が加速する。

また、安藤教授は「名実ともに世界TOPの糖鎖研究拠点を作りたい」と語った。

さらに、6月3日（月）～4日（火）には生命の鎖統合研究センターにおける糖鎖研究の成果発信と三分野（一分子観察、糖鎖合成、糖鎖改変）の生命の鎖統合研究センター内外での融合研究の促進を目的として、国内、海外の研究者を招聘し、国際シンポジウムを行う予定である。



説明する森脇学長



生命の鎖統合研究センターの活動を説明する様子（左から木塚准教授、安藤教授、鈴木教授）

## 第10回連合農学研究科セミナーを開催

本学大学院連合農学研究科では、令和元年5月22日（水）に参加者16名の下、第10回連合農学研究科セミナー 研究インターンシップ報告会を開催した。

千原キャリアパスコーディネーター（連合農学研究科所属）の挨拶のあと、本研究科の授業科目「研究インターンシップ」の成果報告を3名の学生が行った。2名は産業技術総合研究所へ、1名はタイのチュラロンコン大学への研修であり、現地の生活環境や研修先の教員とのコミュニケーションを図りながら研究を進めたこと等、普段研究室では経験できない貴重な体験を数多くを行い、今後の自分の研究にどう役立たせるかについて報告した。

また、この様子は共催している静岡大学にテレビ会議システムで配信され、質疑応答が活発に行われた。

### 〈プログラム〉

#### 海外研究インターンシップ報告

- ・森山 章弘（もりやま あきひろ D2）  
産業技術総合研究所 2018年8月5日～2018年8月18日
- ・長谷川 丈真（はせがわ たけま D2）  
産業技術総合研究所 2018年10月1日～2019年3月31日
- ・YOLANI SYAPUTRI（ヨラニ シャプトリ D2）  
チュラロンコン大学 2018年11月1日～2018年11月28日



研究インターンシップ報告をする森山 章弘さん (D2)



研究インターンシップ報告をする長谷川 丈真さん (D2)



研究インターンシップ報告をする YOLANI SYAPUTRI さん (D2)

## 第20回国公私立大学医学部・歯学部教務事務職員研修を開催

5月24日（金）～26日（日）の3日間にわたり、国立大学医学部長会議常置委員会、一般社団法人全国医学部長病院長会議が主催し、本学医学系研究科・医学部、同医学教育開発研究センターが世話役を担って第20回国公私立大学医学部・歯学部教務事務職員研修が開催された。

この研修は、医学・歯学教育に関する現状と教務事務に関する理解を深め、医学部・歯学部の教務事務職員としての資質の向上を図るとともに、各国公私立大学における円滑な教務事務の進展に寄与することを目的として開催されており、20回目となる今回も全国各地の医学部・歯学部から、教務事務職員計43名が本学サテライトキャンパス及び柳戸キャンパスに参集した。

4つの講義、2課題の班別討議、併催の第72回医学教育セミナーとワークショップ参加などさまざまな内容の研修があり、第1日目に医学教育開発研究センター長 藤崎和彦教授、第2日目に同センター 鈴木康之教授、東京慈恵会医科大学教育センター 岡崎史子講師、第3日目には学校法人梅村学園 村瀬隆彦主幹を迎えて、それぞれ「医学教育の基本」「国際認証と教育の質保障 分野別評価報告書の分析から見えること」「Post-CCOSCEの現状と課題－診療差参加型臨床実習とその評価－」及び「これからの大学職員の課題－特に教務系職員の専門職性に着目して－」を講義いただいた。また、班別討議、ワークショップなどにおいては積極的に質疑応答、意見交換が行われた。

参加者は知識を高め、情報を得るとともにお互いの交流を深めることができ、充実した3日間の研修を修了した。



講義を行う  
岡崎史子 講師



班別討議の様子



会場の様子

## 春のクリーンキャンパス活動を実施

本学は、創立 70 周年及び環境ユニバーシティ宣言 10 周年の節目として、春のクリーンキャンパスの日に合わせ、5 月 22 日（水）にキャンパスのシンボルである丸池の清掃を行った。当日は全学共通教育科目「現代社会とボランティア・地域活動」の受講生、応用生物科学部 伊藤健吾研究室、環境サークル G-amet、施設環境部から計 37 名が参加した。

ポンプで池の水を抜き、並行して池に住む生物を網で捕獲するところから始め、デッキブラシで底やへりにこびりついた藻を取り除いた。最後に伊藤健吾准教授から、捕獲した生物の説明や、特定外来生物の扱いについての講義を行った。

春のクリーンキャンパスでは、教職員・学生 715 名と本学のキャンパス内に校舎がある岐阜薬科大学の職員・学生 20 名が参加し、一時間程度キャンパス内の清掃活動及び緑化活動を行った。また、大学周辺の道路や畠のまわりの清掃活動「大学周辺ゴミ 0 (ゼロ) 活動」も実施し、学生・教職員合わせて 47 名が参加した。



丸池清掃の様子



クリーンキャンパス



大学周辺ゴミ 0 (ゼロ) 活動

## 7 2回医学教育セミナーとワークショップを開催

本学医学教育開発研究センター（M E D C）は、5月25日（土）～26日（日）の2日間にわたり、第72回医学教育セミナーとワークショップを開催した。今回は第20回国公私立大学医学部・歯学部教務事務職員研修との併催で行われ、全国各地から総勢 179名の参加者・講師が集い、公募を含め計8つのワークショップとセミナーを実施した。

ワークショップでは、教職協働支援、教学データ、マインドフルネス入門、行動変容、多職種教育、総合試験、臨床実習後O S C E、多職種連携など、多彩なテーマについて活発な論議がなされた。中でも「行動変容を教える授業設計体験ワークショップ～初診以外の医療面接も教えよう～」は、全国の教員、事務職員及び模擬患者19名が参加した。まずは、行動変容を教える授業に援用できる理論を学び、グループワーク、シナリオ作成、それをもとにロールプレイを行い、その後ディスカッションを行った。参加者は行動変容を教える際の重要なポイントをより深く学ぶことができ大変有意義な機会となった。

セミナーには自治医科大学（M E D C客員教授）の松山 泰先生を迎えて『生涯学習力としての自己調整学習力を伸ばす』のテーマでご講演いただいた。

医療者も常に「自ら学ぶ」ことが求められており、そのためにはプロフェッショナル・アイデンティティ形成と関連付け、どのような環境においても自己調整学習力を発揮することが重要であり、このためには正統的周辺参加による唯一無二の自分という存在意義の体験と外発的動機付けも重要であることが示され、参加にとっては大変意義のあるセミナーとなった。

M E D Cでは、医学教育共同利用拠点として我が国の医療者教育の普及・開発・向上に寄与すべく、年4回「医学教育セミナーとワークショップ」を開催している。

次回、第73回は8月9日（土）～10日（日）の2日間、愛知学院大学にて開催する。



講演される  
松山 泰先生



ワークショップ4での様子

経済産業省 商務・サービスG 政策統括調整官 江崎禎英氏による講演会を開催

本学医学部附属病院は5月21日（火）、経済産業省商務・サービスG 政策統括調整官 江崎禎英氏による『「生涯現役社会」の構築について』と題した講演会を開催し、吉田和弘附属病院長をはじめとする教職員およそ200名が参加した。

講演内容は、健康需要に対するサービスの創出と供給体制の整備、質の高い健康・医療情報の収集・活用によるAIやIoTを用いた指導・介入のためのツールや仕組みの整備、全医療機関を繋ぐ情報ネットワークによる医療システムの構築などの取り組みを通じて、超高齢化社会における持続可能な社会保障システムを実現するとともに、健康を支える新たな産業群を育成することが時代の転換期における重要な課題であるなど、示唆に富む内容であった。

参加者にとって、将来の社会の構築や今後の病院、医療について考える良い機会となつた。



講演会の様子

## 2019年度第3回学長記者会見を実施

本学は、5月31日（金）に、2019年度第3回学長記者会見を実施した。

今回の会見では、森脇学長から「岐阜大学学術アーカイブズ」について、「創立70周年記念事業」と関連させて説明を行い、次いで須山教育学部准教授、出村工学部准教授、川窪応用生物科学部教授から岐阜大学学術アーカイブズの理念と整備の経緯及び整備内容を説明した。

岐阜大学学術アーカイブズは、キャンパス中心の図書館に設置されたアーカイブ・コアと学部に設置された3つのアーカイブ・サテライトからなり、アーカイブ・コアには岐阜大学と各学部の歴史、教員の活動を、パネルや実物資料などで紹介する FUTURUM（フトゥールム：ラテン語で未来の意味）と、本学の所有する様々な資料を収蔵し、展示可能なものを、本学の研究教育の歴史的証拠として、公開する PRAETER（プラエテール：ラテン語で過去の意味）から構成される。

アーカイブ・コアにはおよそ45,000点の資料が収蔵され、そのうち植物標本や鳥類・ほ乳類剥製標本、人体解剖図など約1,000点を見学することが可能である。

また、学長記者会見の後には学術アーカイブズ・オープン記念式典を開催した。

記念式典には、若宮岐阜県博物館協会会长、平井岐阜県博物館館長、森脇学長、野々村図書館長、大藤理事（総務・財務担当）、大野70周年プロジェクト事務局長、本学教職員等が参加した。

平井岐阜県博物館館長の祝辞の後、関係者によるテープカットと内覧会が開かれた。

内覧会では、PRAETER（プラエテール）、FUTURUM（フトゥールム）見学の他、美術品展示の説明があった。

学術アーカイブズの開式と同日にデジタル・キャンパス・ミュージアム（通称：デジ☆キャン）が公開された。（関連リンク参照）

岐阜大学では自然豊かなキャンパスの中に芸術作品が置かれている。それを取り囲む様々な樹木には銘板がつけられ、図録にて解説されている。キャンパス全体をミュージアムとして位置づけて、デジタル・キャンパス・ミュージアムはこれら芸術作品及び樹木等の場所及び解説をスマートフォン等で確認しながらキャンパスを歩けるようにしたものである。

季節の移ろいとともにその表情も変わる‘大学のお宝’を、訪ね歩いてみてはいかがだろうか。

### 【関連リンク】

デジタル・キャンパス・ミュージアム URL：<https://www1.gifu-u.ac.jp/~digicam/>



説明する森脇学長



学術アーカイブズを説明する様子（左から川窪教授、出村准教授、須山准教授）



テープカットの様子



PRAETER（プラエテール）内を見学する森脇学長（説明者 川窪教授）

## 学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
博士(医学)	甲第1108号	前田 健一 まえだ けんいち	令和元年5月15日	Expression of TMEM207 in Colorectal Cancer: Relation between TMEM207 and Intelectin-1 (結腸直腸癌におけるTMEM207の発現(TMEN207とIntelectin-1の関連)
博士(医学)	甲第1109号	吉田 明弘 よしだ あきひろ	令和元年5月15日	(Pro)renin Receptor Blockade Ameliorates Heart Failure Caused by Chronic Kidney Disease (CKDにおいて心筋(プロ)レニン受容体ブロックがもたらす抗心不全効果)

## 令和元年春の生存者叙勲 一本学関係者3名が受章—

令和元年春の生存者叙勲が5月21日に発表され、本学関係者では次の方々が受章された。

### 教育研究功労

瑞宝中綬章 森 秀樹（名誉教授、元岐阜大学長）  
瑞宝中綬章 阪上 幸男（名誉教授、元工学部教授）

### 看護業務功労

瑞宝単光章 横山 奈緒美（元医学部附属病院看護部副看護部長）

## 表彰受賞者

### IEEE Senior Member 昇格

受 賞 者：佐々木 実 工学部教授

業 績 名：IEEE Senior Member 昇格

受 賞 日：令和元年 5 月 14 日

## 外国人研究者の受け入れ（5月）

受入部局	氏名 (国・地域名)	所属・職名	期間	研究題目
工学部	セイド バファエイ Saeid Vafaei (英国)	ブランドリー大学 助教 Assistant Professor, Bradley University	2019/5/15～ 2019/8/9	半導体ナノ粒子の製膜に関する研究 Manufacturing thin-films of semiconductor nanoparticles

## 産官学連携の実施状況

## ○共同研究

(令和元年5月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	吉田 佳典	大同特殊鋼(株)
応用生物科学部	上野 義仁	ヤマサ醤油(株)
工学部	神原 信志	川田工業(株)
応用生物科学部	岩本 悟志	(株)コモ
工学部	櫻田 修	河合石灰工業(株)
工学部	木村 浩	(株)安部日鋼工業
応用生物科学部	松原 陽一	日本オペレーター(株)
工学部	毛利 哲也	ミツミ電機(株)
応用生物科学部	西津 貴久	岐阜県農業技術センター
応用生物科学部	矢部 富雄	一丸ファルコス(株)
工学部	大矢 豊	河合石灰工業(株)
医学系研究科	木村 曜夫	エイアンドティー(株)
工学部	速水 悟	(株)サムソン日本研究所
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	JFE スチール(株)
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	(株)MORESCO
工学部	八嶋 厚	応用地質(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)
工学部	加藤 邦人	太陽化学(株)
工学部	隈部 和弘	コーテック(株)
工学部	纒纒 守	豊田鉄工(株)
工学部	沢田 和秀	(一社)日本テールアルメ協会
科学研究基盤センター	犬房 春彦	TIMA ES

## ○受託研究

(令和元年5月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
応用生物科学部	猪島 康雄	農業・食品産業技術総合研究機構 常在疾病防除技術開発コンソーシアム
地域協学センター	益川 浩一	美濃加茂市
地域協学センター	益川 浩一	八百津町
医学部附属病院	堀川 幸男	国立国際医療研究センター
連合創薬医療情報研究科	赤尾 幸博	名古屋大学

## メディア掲載一覧

○新聞

(令和元年5月分)

掲載日	新聞名	内容
5月1日	中日	手取り合い生きよう 県内の人口は減り、高齢者の割合は増す～地域科学部 富樫幸一 学部長～
5月2日	岐阜	地域の賛歌 高らか 岐阜市黒野地区 住民らが合唱
5月3日	岐阜	ウシモツゴ 命つなぐ 岐阜市の庭池、幸運重なり絶滅回避～地域科学部 向井貴彦 准教授～
5月3日	岐阜	◎ぎふの針路①：「若者の地域志向が変化」～地域協学センター 益川浩一 センター長～
5月4日	中日	船頭、踊り子 鵜飼い二刀流 岐阜大生「故郷のファン増やす」～教育学部2年 新城愛優さん～
5月6日	中日	岐阜大鳥内さん V 国体 e スポ「ぶよぶよ」県代表～4年 鳥内涼平さん～
5月6日	読売	赤松 大会新V 男子走り高跳び～赤松諒一さん～
5月8日	読売	ぶよぶよで国体出場へ e スポーツ 岐阜大・鳥内さん V ～4年 鳥内涼平さん～
5月8日	中日	福井県の一部地域も出動 県ドクターヘリ 両県と病院が協定～医学部附属病院～
5月8日	朝日	県ドクターヘリ 福井県でも運行 13日から～医学部附属病院～
5月8日	岐阜	叙位叙勲 正四位～野田克己 名誉教授～
5月8日	岐阜	脳神経の難病を治癒 「進行性核上性まひ」岐阜大病院が薬剤検証～医学部附属病院 下畠享良 教授～
5月9日	岐阜	◎この人：発達障害の女性を支援する岐阜大講師～川上ちひろさん～
5月9日	岐阜	ドクターヘリ 福井まで拡大 県、初の県外運航～医学部附属病院～
5月9日	毎日	ドクターヘリ 他県でも運航～医学部附属病院～
5月9日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム：自閉スペクトラム症児の理解と支援～教育学部 別府哲 教授～
5月10日	朝日	芸術・文化 語らい楽しみ200回 岐大のフォーラム 月1回開催～教育学部 野村幸弘 教授～
5月10日	読売	ドクターヘリ運航で協定 県、岐阜大病院 福井県と～医学部附属病院～

5月11日	岐阜	創薬研究の成果を発表 岐阜大大学院が公開講座～連合創薬医療情報研究科～
5月11日	岐阜	叙位叙勲 正四位：大谷勲 名誉教授，正四位瑞宝中綬章：仁田昌二 名誉教授
5月11日	中日	岐阜大学シティカレッジプログラム：五十肩や肩の痛みの知識と対処法～医学部附属病院整形外科 寺林伸夫 臨床講師～
5月11日	岐阜	岐阜大生・新城愛優さん"2役"挑戦 踊り子と船頭 アユに任せて～教育学部2年 新城愛優さん～
5月12日	岐阜	少子高齢化時代 大学の意義議論 岐阜市でシンポ～「岐阜大学を発展させる会」などが主催～
5月13日	中日	遺体の声 耳傾け 35年 岐阜唯一の司法解剖医 退官 後継者不足「国は対策を」～武内康雄 元教授～
5月14日	岐阜	まちづくり学生に語る 岐阜大授業で市長対談 岐阜市長「自立型コミュニティーを」 飛騨市長「多様な仲間の熱意生かす」～工学部 高木朗義 教授～
5月14日	読売	まちづくり2市長対談 岐阜、飛騨 岐阜大授業の一環で～工学部 高木朗義 教授～
5月14日	中日	まちづくりテーマ 岐阜大で成果・苦労 岐阜、飛騨2市長が対談～工学部 高木朗義 教授～
5月14日	岐阜	◎研究室から大学はいま：教員の指導力向上サポート～教育学部 理科教育講座 中村 琢 准教授～
5月15日	読売	ケニアの大学から名誉博士号 岐阜大・佐々木教授 授与を報告～工学部 佐々木実 教授～
5月15日	岐阜	佐々木岐阜大教授 名誉博士号を取得 ケニアの国立大、日本人初～工学部 佐々木実 教授～
5月15日	読売	進行性核上性麻痺 脳萎縮の難病 治験開始 協力呼びかけ～医学部附属病院 下畠享良 教授～
5月17日	中日	◎鶴の目：ありがとうの会～地域科学部 土岐邦彦 元教授～
5月18日	毎日	名大・岐阜大 運営法人変更
5月18日	朝日	国立大の法人統合 法案可決 参院本会議 公布で名大など準備へ
5月18日	岐阜	複数大学の運営可能に 改正国立大法人法が成立
5月18日	中日	名大、岐大運営法人 統合で期待 地域創生へ貢献 國際的な競争力 改正法成立
5月18日	読売	岐大と名大統合へ 改正「法人法」成立
5月18日	日本経済	大学法人統合で効率運営 研究の質向上にも期待 名古屋大+岐阜

		大 第1号に
5月18日	岐阜	「糖尿病予防 地域と連携」 岐阜大大学院の新教授・矢部さん 研究成果発信に意欲 ~医学系研究科 矢部大介 教授~
5月18日	中日	岐大グループ人工生成 体内物質「シアル酸含有糖鎖」 がん治療, 人の生命活動解明へ道 ~生命の鎖統合研究センターのグループ~
5月18日	岐阜	◎みんなで防災・減災：防災対策への森林効果探る ~流域圏科学研究センター 児島利治 准教授~
5月19日	中日	ケニアの大学から名誉博士号 工学系教育で協力 岐阜大・佐々木教授 ~工学部 佐々木実 教授~
5月21日	日本経済	@キャンパス 岐阜大学 酵母こだわり 日本酒作り
5月21日	朝日	がん患者や家族 支援活動を紹介 メディコスで展示
5月21日	中日	岐阜大に糖鎖研究拠点 来春設置の「東海機構」直属 名古屋大からも参加 ~生命の鎖統合研究センター~
5月21日	岐阜	◎研究室から大学はいま：人生ゲームで金銭感覚磨く ~教育学部 大藪千穂 教授~
5月21日	中日	瑞宝中綬章<教育研究功労>森秀樹さん(元岐阜大学長), 坂上幸男さん(名誉教授), 瑞宝単光章<看護業務功労>横山奈緒美さん(元医学部附属病院看護部副看護部長)
5月23日	岐阜	高校生のための進学ガイダンス 2019
5月23日	中日	イノシシ捕獲3割増へ 県, 豚コレラ対策を強化
5月23日	読売	◎学ぶ育む：国立大経営効率化へ 改正法成立 「1法人複数制」名古屋大, 岐阜大 第1号
5月24日	中日	リトニアア知って 交流員らが勉強会 ~工学部 毛利哲也 准教授~
5月24日	岐阜	ぎふ PPP/PFI 推進フォーラム 国が活動支援協定 ~工学部 高木朗義 教授~
5月24日	読売	岐阜市の課題 学生調査 防災や交通 市民に聞き取り ~工学部 社会基盤工学科3年生~
5月25日	岐阜	◎サタデーコラム：高齢者ことしつかり食べよう ~医学系研究科 大森正英 講師~
5月25日	岐阜	9日, 岐阜市で肝臓病講演会 日本肝臓学会 ~医学系研究科 白木亮 准教授~
5月27日	岐阜	ちほ先生が見た岐阜人の不思議 絶賛発売中！ ~教育学部 大藪千穂 教授~
5月27日	朝日	広がる「科目ナンバリング」 大学の授業科目に番号 分野や難易

		度表示～江間諭 副学長～
5月28日	岐阜	岐阜人の不思議満載 本誌連載 大藪岐阜大教授が出版～教育学部 大藪千穂 教授～
5月28日	岐阜	◎研究室から大学はいま：ゲノムから病の要因探る～医学部看護学科生命機能学分野 武藤吉徳 教授～
5月29日	中日	ギリシャとテレビ電話 環境問題や温暖化対策 岐阜大付属小意見交換～教育学部 田中伸 准教授～
5月30日	中部	岐阜大工学部 王教授が新工法開発 精密中空部品のコスト減に寄与～工学部 王志剛 教授～
5月30日	岐阜	分水嶺～教育学部 大藪千穂 教授～
5月30日	岐阜	岐阜大の歴史回顧 創立70周年控え記念セミナー～教育推進・学生支援機構 広内大輔 准教授～
5月30日	中日	英会話で患者対応 看護科学生が学ぶ 岐阜大で体験授業～医学部看護学科3年生80人～
5月30日	中日	岐阜大創立70周年 歴史や秘話を紹介～教育推進・学生支援機構 広内大輔 准教授～
5月31日	朝日	まひ難病の新薬 医師主導で治験 岐大教授らグループ～医学部附属病院 下畠享良 教授～
5月31日	岐阜	生活相談、14言語で対応 岐阜市に外国人センター開所～県国際交流センター理事長 森脇久隆 学長～
5月31日	岐阜	岐阜大学創立70周年 地知の拠点へ「学び、究め、貢献」地方創生の使命 第12代学長・森脇久隆氏に聞く～森脇久隆 学長～

## ○テレビ・ラジオ・雑誌等

(令和元年5月分)

放送日	番組名	内容
5月22日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	「地震 直下型③屏風山・恵那山・猿投山断層帯」 流域圏科学研究センター 杉戸真太 特任教授 (清流の国ぎふ防災・減災センター長)

## ◇第664回 役員会

5月9日（木）

（議事）

1. 教育職員雇用申請について

## ◇第665回 役員会

5月16日（木）

（議事）

1. 業務達成基準適用事業に係る達成度等について
2. 令和元年度分教員人事について
3. 教育職員雇用申請について

## ◇第2回 部局長・部長会

5月16日（木）

（協議事項）

なし

## ◇第2回 教学委員会

5月21日（火）

（審議事項）

1. 学生表彰について
2. 令和元年度授業料免除に係る留年者等審査部会の委員の選出について
3. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
4. 日本語科目及び日本事情に関する科目的充当について

## ◇第666回 役員会

5月23日（木）

（議事）

1. クロスアポイントメントの実施及び特任教員雇用申請について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用申請について

## ◇第182回 教育研究評議会

5月23日（木）

（審議事項）

なし

## ◇第2回 入学試験専門委員会

5月29日（水）

（審議事項）

1. 岐阜大学入試統計資料集（平成31年度入試）について
2. 医学部医学科推薦入学II特別入試（一般）・一般入試（前期・後期日程）の募集人員の変更（案）について
3. 医学部医学科入学者選抜基準の一部改正（案）について
4. 工学部入学者選抜基準の一部改正（案）について

5. 令和2年度一般入試（後期）における試験場の検討（案）について 岐阜大学学報 2019.6
6. 合格発表の方法（案）について

## 主要日誌

月 日	行 事 名
5/ 10	公開講座「先端に行く 連合創薬医療情報研究科」－創薬を支える究極のものづくり－
18	旧早野邸セミナーハウス出前講座
21	江崎禎英氏講演会
22	クリーンキャンパス
23	名誉教授称号授与式・功労者表彰式・学生表彰式
26	げんさい樂座